

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	胸部 X 線検査に対する AI を用いたデュアルエネルギーサブトラクション技術の開発
当院の研究責任者 (所属・職位)	放射線部・係長 関 将志
他の研究機関および 各施設の研究責任者	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授 石田 隆行
本研究の概要・背景・目的	デュアルエネルギーサブトラクション (dual energy subtraction: DES) 技術では、高電圧と低電圧で撮影された 2 枚の画像の重みづけ差分により、骨組織画像や軟部組織画像を作成することが可能であり、腫瘍陰影の描出が改善できると報告されている。しかし現在臨床適応されている DES のうち、2 回撮影を要するデュアルショット法では被写体の動きによるアーチファクトと被ばく線量増大の問題点があり、1 回の X 線撮影によるワンショット法では金属フィルターを用いるために量子ノイズが増加する欠点がある。そこで我々は、胸部 X 線検査を対象とした AI (artificial intelligence) によるデュアルエネルギーサブトラクション (dual energy subtraction: DES) 技術を開発する。この技術により、高電圧画像 1 枚から低電圧画像の生成が可能となり従来の DES より被ばく線量の低減が見込まれる。またワンショット法での DES が可能となり被写体の動きによるアーチファクトが軽減できる。
調査データ 該当期間	2022 年 1 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
対象となる患者さま	上記期間内に当院で临床上必要と判断され DES 法を用いて胸部 X 線検査を受けられた方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2022 年 1 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日の期間に当院において临床上必要と判断され DES 法を用いて胸部 X 線検査を受けられた方を対象とし、得られた胸部 X 線画像。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ電子配信を用いて提供します。 提供元機関の名称及び機関長の氏名 北里大学病院・病院長 高相晶士
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:放射線部・係長

担当者:関 将志(セキ マサシ)

電 話:042-778-8111

備 考